

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 9 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	38738000373		
法人名	有限会社 清水商事		
事業所名	グループホーム 宇和ひまわり		
所在地	西予市宇和町坂戸336-1 (電話) 0894-62-2106		
管理者	土居 ひとみ		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 10 月 30 日	評価確定日	平成 20 年 12 月 12 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 20 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 20 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 8 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 14 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	150 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 円		

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 20 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	3 名	要介護 2	8 名
要介護 3	4 名	要介護 4	1 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 87 歳	最低 71 歳	最高 98 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然豊かな田園の中にあり、アメリカンカンントリー調のひまわり等がペイントされた外壁が可愛く出迎えてくれる。ホームにはゆったりのにんびり時間が流れるような雰囲気がある。ホームの畑でプチトマトなどを作り、利用者の楽しみの一つとなっている。道路を隔てた所に同法人が運営するアパートがあり、若い人たちが住んでいるため子どもたちと接することも多く、避難訓練には親子で参加してくれている。白いウサギを飼っており、皆で可愛がっている。職員は「笑顔を常に心がけ普通のことを普通にする」をモットーに、日々利用者と共に暮らしている。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回の評価では地域とのつきあいが課題として挙げられていたが、前にあるアパートの住人との交流が進んでおり、避難訓練に親子で参加してくれるなど改善の努力が見られる。これを契機として交流の輪が広がっていくことを期待する。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

いくつかの項目については職員の意見も聞いたが、多くは管理者と計画作成者でまとめている。普段通りの姿を見てもらおうという考えのもとで評価を受けたことで、改善する機会になったと捉えている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

ホームの行事報告、避難訓練、運営推進会議のメンバーの変更などが主な内容である。地域の方からは、県の博物館のチケットをもらったり、地域でのイベントの日時など色々な情報を教えてもらっている。今後はさらに家族会を設立することを計画している。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

月一回は手紙を書き、体調や暮らしぶりなどを報告している。意見箱も設置して家族からの意見を汲み取ろうとしているが、積極的に意見を言ってくれる方は少ない。来訪時には話をするよう心がけ、医療機関を変えてほしいなどの要望に応じている。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホーム前のアパートの住人と日々関わることにより、子どもたちと利用者が会話したり、親子で消防訓練に参加してくれるなど、交流が深まってきている。運営推進会議を通じて様々な情報をもらい、参加できるものは参加して地域との連携を図ろうとしている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム宇和ひまわり

(ユニット名) A棟

記入者(管理者)  
氏名 川中 小由里

評価完了日 平成 20 年 月 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 『笑顔ある生活』という理念を掲げている。この理念を通して、地域とのつながりの中で安心して暮らしてもらえるよう支援を行っている。  (外部評価) 全職員で意見を出し合って“笑顔ある生活”という理念を作っている。また、理念を反映させた具体的な指針も話し合っていて決めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 具体的な実践目標を決めて取り組み、職員間で反省点を揚げ、今後の取組に活かせるように努めている。  (外部評価) 笑顔を絶やさないう、理念に沿った指針を全職員で考え、日々の取り組みを具体化している。利用者の考えを優先し、希望に沿うよう外出など実践している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ユニットごとの壁に掲示し、分かりやすいようにしている。見学者には、説明をするようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 見かけると、挨拶や話をしている。子供達が遊びに来てくれる。行事(夏祭りなど)の案内をして、一緒に楽しんでもらえるように努めている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 盆踊りや運動会、地方祭などに参加させてもらっている。保育園児や小学生が来訪してくれ、ふれあい・交流を行っている。  (外部評価) 地元出身の利用者が多いので、地域とのつきあいは良好である。なるべく外出するようにしており、またウサギを飼っているので小学生が立ち寄ってくれることもある。ホーム前にあるアパートの住人にホーム行事に参加してもらっている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域のお年寄りにボランティアとしてきてもらっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 話し合い、改善に取り組んでいる。  (外部評価) 自己評価をすることにより忘れていたことを思い出し、考えを新たにできる良い機会と捉えている。普段の姿を見てもらいたいとの考えで外部評価を受け、改善について熱心に取り組んでいる。自己評価の際、職員の意見も一部聞いているが、管理者が多く部分をまとめている。	※	自己評価、外部評価ともに日々のケアを省みる良い機会と捉え、理念に近づこうと努力しているため、今後はさらに自己評価についても全職員で取り組むなどの工夫を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一回報告・話し合いを行い、改善に努めている。  (外部評価) 報告が中心となっており、委員との意見交換が十分とまでは言えない。家族会を設立し、また運営推進会議に家族にも出席してもらいたいと考えている。地域の方からは地域行事の日を教えてもらったり、博物館のチケットをもらうなど、良好な関係が築けつつある。	※	メンバーの構成や開催日時などを工夫して出席率を上げることが望まれる。また、家族会を計画しているので、実現することを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 年2回の相談員の来訪に加え、市職員の方と電話等での情報交換を行っている。  (外部評価) 解らないことがあるときは相談しており、電話でのやり取りなども含め、行き来する機会を多くもつよう心がけ、話しやすい関係を築いている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加し、職員会で報告・話し合いをしている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加し、職員会で報告・話し合いをしている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な理解・納得が得られるように努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 自由に意見を表現できるようにし、受け入れ、また、速やかな対応に努めている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時に詳しい状態を説明している。変わったことがあると、その都度連絡するようにしている。小遣い帳を毎月コピーして送っている。担当職員が毎月手紙を書いて送っている。年四回ホーム便りを発送したり、写真を送るなどしている。 <hr/> (外部評価) 月に1回は体調のことなどを知らせるために手紙を書いている。家族の来訪がある都度、気づいたことは報告している。1日に1回は来られる家族もいる。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 自由に意見を述べてもらえる機会を設け、速やかな対応に努めている。重要事項説明書に苦情相談の窓口を明記し、説明している。 <hr/> (外部評価) 意見箱を置いているが、あまり活用されないため、家族来訪の都度、普段の会話の中から聞き取るようにしており、医療機関を変えてほしいという意見があったので意向に沿い変えるなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 現状では取り組めていない。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 柔軟な対応ができるよう勤務調整に努めている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動はない。離職に関しても、ダメージを防ぐ配慮をしている。  (外部評価) 異動自体が少ないが、新しい職員が入ってきたときは経験のある職員がカバーするようにしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ほぼ毎月研修を受講し、資格取得を推進している。  (外部評価) グループホーム連絡協議会の研修を中心に、職員が順番に研修に参加している。勤務として参加しているため、費用も法人が負担している。個人で資格取得を目指す場合の費用は自己負担となるが、レベルアップは歓迎すべきことなので勤務体制について協力し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営推進会議や行事への参加、また、他施設での研修を通じて、サービスの質の向上に努めている。ホーム便りの交換も行っている。  (外部評価) 近隣のグループホームと夏祭り・夕涼みなどで行き来している。広報誌を交換したり、運営推進会議にも相互に出席している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員間のコミュニケーションを図るための食事会を開いている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 勤務状況の把握、向上心を持って働けるように努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) よく話を聞き、受け止め、安心してもらえるよう努力をしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) よく話を聞き、受け止め、安心してもらえるよう努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族が納得できる支援ができるよう、対応に努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人が徐々に馴染めるように様子を見ながらサービスを進めている。また、必要に応じて家族との相談も行っている。  (外部評価) 在宅での生活からホームを利用する方が多いので、まず本人と家族に見学してもらい、本人や家族と話し合いを持ち、自宅にも伺って生活環境の把握や理解に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 喜怒哀楽を共にし、教えてもらったり、手伝いをしてもらいながら支えあう関係作りに努めている。必ず感謝の言葉をかけるようにしている。  (外部評価) 職員は、人生の先輩として利用者から学ぶことは多いと感じており、昔のことや料理の味付け、もちの作り方などを教わっている。また、利用者から感謝の言葉を聞いた時や冗談を言ってくれた時には働く喜びを味わっており、ゆったりと支えあう関係を築いている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の気持ちに共感し、本人を支える関係作りができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) これまでの本人と家族との関わりを聞き、その理解に努め、より良い関係を築けるような支援ができるよう努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人や家族の希望に応じて馴染みの関係が保てる支援に努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、孤立せず、関わり合えるような関係作りに努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 相談してもらえるように声かけをしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向に添った支援が出来るように努めている。  (外部評価) 外出を希望する利用者が多いので、ティッシュなどの買い物と一緒にいくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人・家族等との話でこれまでの暮らしを把握するようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 職員間で毎日報告・相談しながら、総合的な現状把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族の話聞き、意見を取り入れ、話し合いをしながら介護計画を作成している。職員会で職員全員で意見を出し合い、最終的に決定している。  (外部評価) ユニットごとに全職員で話し合っって介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 状態に応じて見直しを行い、職員会で職員全員で意見交換をした上で計画を作成するようにしている。  (外部評価) 毎月の会議で見直しを行い、状況等の変化が大きい利用者については現状に即した介護計画を新たに立てており、その際は家族の意見も聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子を介護記録として記入している。変化時は詳しく記入し、全員が把握できるようにしすると共に計画作成見直しに活かせるように努めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の希望を聞いて、出来るだけ要望に応じている。  (外部評価) 墓参りに行きたいなど、本人が急な外出を希望しても対応するよう努め、家族の宿泊に対しても受け入れる体制があるなど、柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じて協力してもらっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて連絡を取り、話し合いをしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じ連絡できるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、及び家族の意向を聞き、納得できる医療機関を受診できるようにしている。  (外部評価) 協力医療機関もあるが、本人や家族が望むかかりつけ医に受診できるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 支援している		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 支援している		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院との連絡を取り、話し合いをしながら支援できるように努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人や家族と話し合い、医師に相談しながら方針を決めている。  (外部評価) 医療行為が伴うことはホームでは対応できないため、家族には早い段階で説明し、話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医師と相談しながら支援に取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報交換に努め、ダメージを防ぐ努力をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 各人の誇りやプライバシーを尊重した対応・記録を心がけている。  (外部評価) 個人情報に配慮し、面会簿は一枚ずつの個票にしている。書類は事務所で厳重に管理している。写真の扱いについては、利用開始時に話し合い、了解を取っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人が希望を表現できたり、自己決定が出来るような言葉かけに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の希望に添った過ごし方ができるような支援に努めている。  (外部評価) 食事の時間は各自のペースを尊重してゆっくりの方もせかささない、毎日の体操を嫌がる利用者には強要しない、外出を希望する場合は職員が付き添うなど、それぞれの方の希望にそって支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の着たいものを選択してもらっている。美容は、近くの美容室に行き、外出も楽しんでもらっている。希望があれば、本人の行きたい美容室へ行ってもらっている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食材切り・調理・配膳・食器洗い・テーブル拭き・米とぎ等出来ることをしてもらい、一緒に楽しみながら準備・片付けをしてもらっている。  (外部評価) 野菜を切る、味付けをするなど料理を手伝ってもらうこともある。月に2回、お楽しみ献立と称して利用者好きな物などを聞いてメニューを考えてもらうようにしている。誕生日は一人ひとりに希望を聞いている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好に応じた支援を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表をつけ、定期的なトイレ誘導や声かけを行い、気持ちよく排泄できるように支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴は毎日行っている。また、本人の希望及び体調に応じて入浴できるように努めている。  (外部評価) 基本的には毎日の入浴としている。入浴を拒否する利用者は、気分のいいときに声かけなどを工夫しながら誘導し、最低でも週1回は入ってもらうように配慮している。午前、午後で好きな時間に入れるようにしている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 自由に過ごしてもらえるような支援に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 各人に役割を持ってもらい、出来ることをしてもらっている。また、外出やレクリエーション、本人がしたいと思う事をしてもらい、気晴らしができるような支援に努めている。  (外部評価) 料理をする、歌を歌う、ボール遊びをする、畑へ野菜を取りに行く、洗濯物を干すなど、各利用者の生活歴や力を活かした役割や楽しみごとの支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 各人に合わせて、お金を所持したり、仕えるように支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩や買い物など、本人の希望に応じたり、声かけをするなどして戸外に出かけられるように支援している。  (外部評価) 日常的に外出できるように配慮しており、畑に行ったり散歩に出かけるようにしている。また、スーパーなどに買い物に行ったり、ドライブに行きたい利用者は市役所に用事がある時などに一緒に行くようにしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 必要があれば家族の協力を得るなどして、各人の希望に応じた支援に努めている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 各人の希望に応じてその支援に努めている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 来訪を歓迎し、話しやすい場所を提供し、居心地良く過ごせるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員会での話し合いや研修報告など全員が理解し取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 戸の開閉時に音が出るようにし、鍵をかけないよう工夫している。  (外部評価) 鍵はかけておらず、外出等はチャイムで把握できるよう工夫している。また、全体を見渡せる場所にひとり職員がいるようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 各人の状態に応じた巡室・見守りにて安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 必要に応じて職員間で相談しながら、危険を防ぐ取組をしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員会で話し合い、知識を学び、各人の状態を把握して見守りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員会で話し合いをしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 訓練を行うと共に、地域の協力を得られるよう働きかけを行っている。七月には運営推進会議として避難訓練を推進委員・消防署と共に実施している。次回の避難訓練で地震を想定した避難訓練を行う予定である。  (外部評価) 年2回訓練しており、2回とも消防署の指導を受けている。夜間を想定した訓練も行い、時間を計測するなどしている。ホーム前のアパートの住人が訓練に参加してくれ、住人は若い方が多いのでホームとしては心強く思っている。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こり得るリスクについて、家族に説明し、理解を得た上で本人の意思を尊重したような暮らしができるような対応を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化や異変に注意し、職員間で情報を共有し、家族と相談するなどして速やかな対応に結び付けている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の処方を見られるところにおき、全員が確認し、理解できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 理解し、取り組んでいる。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声かけ・誘導を行い、確認している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事・水分摂取量をチェックし、状態を把握し、各人に応じた工夫に努めている。水分が取れていない時には、種類の違う飲み物を出すなどの工夫をしている。  (外部評価) 自分たちで勉強し、簡単なカロリー計算をして大まかな栄養バランス等も把握している。水分摂取量について、把握が必要な方についてはチェックして見守っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症ごとの予防や対応の取り決めはないが、常に手洗いやうがいを励行し、漂白剤やアルコール消毒などで施設内を清潔に保つことで予防・対応に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所や調理用具の清掃・乾燥・消毒に努め、食品の消費・賞味期限に注意して新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 建物周辺の掃除、また玄関周辺に花を置くなどして明るく入りやすくなるように工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 広くて明るいスペースを確保している。季節感のある花や飾りを置いたり、状況に応じてすだれを使用したり、電灯の光を調節するなどして、居心地良く過ごせるような工夫をしている。  (外部評価) 花や飾りなどで季節感を出している。ウサギを飼っており、利用者がウサギの傍に集まって会話を弾ませている。トイレなども気になるにはなく清潔である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 広くて明るいスペースを確保しており、その中で思い思いに過ごせるよう工夫している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人や家族と相談し、馴染みの物を置くようにしている。  (外部評価) ベッド、タンス以外のものは持ち込み自由となっており、利用者ごとに居心地良く過ごせる居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 脱臭・換気に努め、空調による温度差が大きくなるように温度を設定している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各人のその時の状態に応じて、自立に向けた安全な環境づくりに努めている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 日ごろの介護を通して「わかる力」を把握し、自立に向けた支援ができるよう努めている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外回りに木や花を植え、ベランダには椅子を置き、くつろげるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	家族や本人にこれまでの生活歴を聞き、日ごとの生活の中で本人の意向を聞いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	職員を確保している。他の時間を調節し、利用者と一緒に過ごす時間を作れるように努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声かけはするが強要はしない。本人の意向を尊重したケアを心がけている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が笑顔で話しかける。本人が出来ること・したいことをしてもらい、感謝の言葉かけをすることで生き生きとした表情や姿が見られる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	戸外に出ることに抵抗を示す方も居られるため、全員が思いのままには言えないが、本人の要望に応えられるように努めている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	バイタルや病院受診・日常の見守りで不安なく過ごせるように努めているが、時々、体調不良や病院受診を希望されう方がいる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況によっては柔軟な支援に努めても不安を訴えられることがある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	不安を感じている家族の方とは話が出来ていると思うが、全ての家族とはいえない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ほぼ毎日のように来て頂く方もいるが、たいていの方は数日に一回程度の来訪である。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議での意見交換を通して交流が少しずつ広がっている。
98	職員は、活き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間のコミュニケーションもとれており、楽しく仕事ができている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	様子を見ながら声かけをしても不満を漏らされる利用者がおられる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時等お話をすると、満足されている内容のお話をされる。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム宇和ひまわり

(ユニット名) B棟

記入者(管理者)  
氏名 土居 ひとみ

評価完了日 平成 20 年 9 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 『笑顔ある生活』という理念を掲げている。この理念を通して、地域とのつながりの中で安心して暮らしてもらえるよう支援を行っている。  (外部評価) 全職員で意見を出し合って“笑顔ある生活”という理念を作っている。また、理念を反映させた具体的な指針も話し合っていて決めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 具体的な実践目標を決めて取り組み、職員間で反省点を揚げ、今後の取組に活かせるように努めている。  (外部評価) 笑顔を絶やさないう、理念に沿った指針を全職員で考え、日々の取り組みを具体化している。利用者の考えを優先し、希望に沿うよう外出など実践している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ユニットごとの壁に掲示し、分かりやすいようにしている。見学者には、説明をするようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 見かけると、挨拶や話をしている。子供達が遊びに来てくれる。行事(夏祭りなど)の案内をして、一緒に楽しんでもらえるように努めている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 盆踊りや運動会、地方祭などに参加させてもらっている。保育園児や小学生が来訪してくれ、ふれあい・交流を行っている。  (外部評価) 地元出身の利用者が多いので、地域とのつきあいは良好である。なるべく外出するようにしており、またウサギを飼っているので小学生が立ち寄ってくれることもある。ホーム前にあるアパートの住人にホーム行事に参加してもらっている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域のお年寄りにボランティアとしてきてもらっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 話し合い、改善に取り組んでいる。  (外部評価) 自己評価をすることにより忘れていたことを思い出し、考えを新たにできる良い機会と捉えている。普段の姿を見てもらいたいとの考えで外部評価を受け、改善について熱心に取り組んでいる。自己評価の際、職員の意見も一部聞いているが、管理者が多く部分をまとめている。	※	自己評価、外部評価ともに日々のケアを省みる良い機会と捉え、理念に近づこうと努力しているため、今後はさらに自己評価についても全職員で取り組むなどの工夫を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一回報告・話し合いを行い、改善に努めている。  (外部評価) 報告が中心となっており、委員との意見交換が十分とまでは言えない。家族会を設立し、また運営推進会議に家族にも出席してもらいたいと考えている。地域の方からは地域行事の日を教えてもらったり、博物館のチケットをもらうなど、良好な関係が築けつつある。	※	メンバーの構成や開催日時などを工夫して出席率を上げることが望まれる。また、家族会を計画しているので、実現することを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 年2回の相談員の来訪に加え、市職員の方と電話等での情報交換を行っている。  (外部評価) 解らないことがあるときは相談しており、電話でのやり取りなども含め、行き来する機会を多くもつよう心がけ、話しやすい関係を築いている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加し、職員会で報告・話し合いをしている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加し、職員会で報告・話し合いをしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な理解・納得が得られるように努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 自由に意見を表現できるようにし、受け入れ、また、速やかな対応に努めている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時に詳しい状態を説明している。変わったことがあると、その都度連絡するようにしている。小遣い帳を毎月コピーして送っている。担当職員が毎月手紙を書いて送っている。年四回ホーム便りを発送したり、写真を送るなどしている。  (外部評価) 月に1回は体調のことなどを知らせるために手紙を書いている。家族の来訪がある都度、気づいたことは報告している。1日に1回は来られる家族もいる。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 自由に意見を述べてもらえる機会を設け、速やかな対応に努めている。重要事項説明書に苦情相談の窓口を明記し、説明している。  (外部評価) 意見箱を置いているが、あまり活用されないため、家族来訪の都度、普段の会話の中から聞き取るようにしており、医療機関を変えてほしいという意見があったので意向に沿い変えるなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 現状では取り組めていない。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 柔軟な対応ができるよう勤務調整に努めている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動はない。離職に関しても、ダメージを防ぐ配慮をしている。  (外部評価) 異動自体が少ないが、新しい職員が入ってきたときは経験のある職員がカバーするようにしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ほぼ毎月研修を受講し、資格取得を推進している。  (外部評価) グループホーム連絡協議会の研修を中心に、職員が順番に研修に参加している。勤務として参加しているため、費用も法人が負担している。個人で資格取得を目指す場合の費用は自己負担となるが、レベルアップは歓迎すべきことなので勤務体制について協力し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営推進会議や行事への参加、また、他施設での研修を通じて、サービスの質の向上に努めている。ホーム便りの交換も行っている。  (外部評価) 近隣のグループホームと夏祭り・夕涼みなどで行き来している。広報誌を交換したり、運営推進会議にも相互に出席している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員間のコミュニケーションを図るための食事会を開いている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 勤務状況の把握、向上心を持って働けるように努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) よく話を聞き、受け止め、安心してもらえるよう努力をしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) よく話を聞き、受け止め、安心してもらえるよう努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族が納得できる支援ができるよう、対応に努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人が徐々に馴染めるように様子を見ながらサービスを進めている。また、必要に応じて家族との相談も行っている。  (外部評価) 在宅での生活からホームを利用する方が多いので、まず本人と家族に見学してもらい、本人や家族と話し合いを持ち、自宅にも伺って生活環境の把握や理解に努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 喜怒哀楽を共にし、教えてもらったり、手伝いをしてもらいながら支えあう関係作りに努めている。必ず感謝の言葉をかけるようにしている。  (外部評価) 職員は、人生の先輩として利用者から学ぶことは多いと感じており、昔のことや料理の味付け、もちの作り方などを教わっている。また、利用者から感謝の言葉を聞いた時や冗談を言ってくれた時には働く喜びを味わっており、ゆったりと支えあう関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の気持ちに共感し、本人を支える関係作りができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) これまでの本人と家族との関わりを聞き、その理解に努め、より良い関係を築けるような支援ができるよう努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人や家族の希望に応じて馴染みの関係が保てる支援に努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、孤立せず、関わり合えるような関係作りに努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 相談してもらえるように声かけをしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向に添った支援が出来るように努めている。  (外部評価) 外出を希望する利用者が多いので、ティッシュなどの買い物と一緒にいくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人・家族等との話でこれまでの暮らしを把握するようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 職員間で毎日報告・相談しながら、総合的な現状把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族の話聞き、意見を取り入れ、話し合いをしながら介護計画を作成している。職員会で職員全員で意見を出し合い、最終的に決定している。  (外部評価) ユニットごとに全職員で話し合っって介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 状態に応じて見直しを行い、職員会で職員全員で意見交換をした上で計画を作成するようにしている。  (外部評価) 毎月の会議で見直しを行い、状況等の変化が大きい利用者については現状に即した介護計画を新たに立てており、その際は家族の意見も聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子を介護記録として記入している。変化時は詳しく記入し、全員が把握できるようにしすると共に計画作成見直しに活かせるように努めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の希望を聞いて、出来るだけ要望に応じている。  (外部評価) 墓参りに行きたいなど、本人が急な外出を希望しても対応するよう努め、家族の宿泊に対しても受け入れる体制があるなど、柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じて協力してもらっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて連絡を取り、話し合いをしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じ、連絡をとれるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、及び家族の意向を聞き、納得できる医療機関を受診できるようにしている。  (外部評価) 協力医療機関もあるが、本人や家族が望むかかりつけ医に受診できるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 支援している		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 支援している		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院との連絡を取り、話し合いをしながら支援できるように努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人や家族と話し合い、医師に相談しながら方針を決めている。  (外部評価) 医療行為が伴うことはホームでは対応できないため、家族には早い段階で説明し、話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族と話し合い、医師に相談しながら方針を決めている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報交換に努め、ダメージを防ぐ努力をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 各人の誇りやプライバシーを尊重した対応・記録を心がけている。  (外部評価) 個人情報に配慮し、面会簿は一枚ずつの個票にしている。書類は事務所で厳重に管理している。写真の扱いについては、利用開始時に話し合い、了解を取っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ゆっくり話を聞いたり、意思表示できるような声掛けをしたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 希望を聞いたり、したい事を自由にしてもらうよう努めている。  (外部評価) 食事の時間は各自のペースを尊重してゆっくりの方もせかささない、毎日の体操を嫌がる利用者には強要しない、外出を希望する場合は職員が付き添うなど、それぞれの方の希望にそって支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の着たいものを選択してもらっている。美容は、近くの美容室に行き、外出も楽しんでもらっている。希望があれば、本人の行きたい美容室へ行ってもらっている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食材切り・調理・配膳・食器洗い・テーブル拭き・米とぎ等出来ることをしてもらい、一緒に楽しみながら準備・片付けをしてもらっている。  (外部評価) 野菜を切る、味付けをするなど料理を手伝ってもらうこともある。月に2回、お楽しみ献立と称して利用者好きな物などを聞いてメニューを考えてもらうようにしている。誕生日は一人ひとりに希望を聞いている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好に応じた支援を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表をつけ、定期的なトイレ誘導や声かけを行い、気持ちよく排泄できるように支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴は毎日行っている。また、本人の希望及び体調に応じて入浴できるように努めている。  (外部評価) 基本的には毎日の入浴としている。入浴を拒否する利用者は、気分のいいときに声かけなどを工夫しながら誘導し、最低でも週1回は入ってもらうように配慮している。午前、午後で好きな時間に入れるようにしている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 自由に過ごしてもらえるような支援に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 各人に役割を持ってもらい、出来ることをしてもらっている。また、外出やレクリエーション、本人がしたいと思う事をしてもらい、気晴らしができるような支援に努めている。  (外部評価) 料理をする、歌を歌う、ボール遊びをする、畑へ野菜を取りに行く、洗濯物を干すなど、各利用者の生活歴や力を活かした役割や楽しみごとの支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 各人に合わせて、お金を所持したり、買い物時の支払いをしてもらっている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩や買い物など、本人の希望に応じたり、声かけをするなどして戸外に出かけられるように支援している。  (外部評価) 日常的に外出できるように配慮しており、畑に行ったり散歩に出かけるようにしている。また、スーパーなどに買い物に行ったり、ドライブに行きたい利用者は市役所に用事がある時などに一緒に行くようにしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 必要があれば家族の協力を得るなどして、各人の希望に応じた支援に努めている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 各人の希望に応じてその支援に努めている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 来訪を歓迎し、話しやすい場所を提供し、居心地良く過ごせるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員会で話し合いや研修報告などで職員全員が理解し取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 戸の開閉時に音が出るようにし、鍵をかけないよう工夫している。  (外部評価) 鍵はかけておらず、外出等はチャイムで把握できるよう工夫している。また、全体を見渡せる場所にひとり職員がいるようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 各人の状態に応じた巡室・見守りにて安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 必要に応じて職員間で相談しながら、危険を防ぐ取組をしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員会で話し合い、知識を学び、各人の状態を把握して見守りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員会で話し合いをしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 訓練を行うと共に、地域の協力を得られるよう働きかけを行っている。七月には運営推進会議として避難訓練を推進委員・消防署と共に実施している。次回の避難訓練で地震を想定した避難訓練を行う予定である。  (外部評価) 年2回訓練しており、2回とも消防署の指導を受けている。夜間を想定した訓練も行い、時間を計測するなどしている。ホーム前のアパートの住人が訓練に参加してくれ、住人は若い方が多いのでホームとしては心強く思っている。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こり得るリスクについて、家族に説明し、理解を得た上で本人の意思を尊重したような暮らしができるような対応を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化や異変に注意し、職員間で情報を共有し、家族と相談するなどして速やかな対応に結び付けている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の処方を見られるところにおき、全員が確認し、理解できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 理解し、取り組んでいる。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声かけ・誘導を行い、確認している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事・水分摂取量をチェックし、状態を把握し、各人に応じた工夫に努めている。水分が取れていない時には、種類の違う飲み物を出すなどの工夫をしている。  (外部評価) 自分たちで勉強し、簡単なカロリー計算をして大まかな栄養バランス等も把握している。水分摂取量について、把握が必要な方についてはチェックして見守っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症ごとの予防や対応の取り決めはないが、常に手洗いやうがいを励行し、漂白剤やアルコール消毒などで施設内を清潔に保つことで予防・対応に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所や調理用具の清掃・乾燥・消毒に努め、食品の消費・賞味期限に注意して新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 建物周辺の掃除、また玄関周辺に花を置くなどして明るく入りやすくなるように工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 広くて明るいスペースを確保している。季節感のある花や飾りを置いたり、状況に応じてすだれを使用したり、電灯の光を調節するなどして、居心地良く過ごせるような工夫をしている。  (外部評価) 花や飾りなどで季節感を出している。ウサギを飼っており、利用者がウサギの傍に集まって会話を弾ませている。トイレなども気になるにおいはなく清潔である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 広くて明るいスペースを確保しており、その中で思い思いに過ごせるよう工夫している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人や家族と相談し、馴染みの物を置くようにしている。  (外部評価) ベッド、タンス以外のものは持ち込み自由となっており、利用者ごとに居心地良く過ごせる居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 脱臭・換気に努め、空調による温度差が大きくなるように温度を設定している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各人のその時の状態に応じて、自立に向けた安全な環境づくりに努めている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 日ごろの介護を通して「わかる力」を把握し、自立に向けた支援ができるよう努めている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外回りに木や花を植え、ベランダには椅子を置き、くつろげるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	家族や本人にこれまでの生活歴を聞き、日ごろの生活の中で本人の意向を聞いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	職員を確保している。他の時間を調節し、利用者と一緒に過ごす時間を作れるように努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声かけはするが強要はしない。本人の意向を尊重したケアを心がけている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が笑顔で話しかける。本人が出来ること・したいことをしてもらい、感謝の言葉かけをすることで生き生きとした表情や姿が見られる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	戸外に出ることに抵抗を示す方も居られるため、全員が思いのままには言えないが、本人の要望に応えられるように努めている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	バイタルや病院受診・日常の見守りで不安なく過ごせるように努めているが、時々、体調不良や病院受診を希望されう方がいる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況によっては柔軟な支援に努めても不安を訴えられることがある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	不安を感じている家族の方とは話が出来ていると思うが、全ての家族とはいえない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ほぼ毎日のように来て頂く方もいるが、たいていの方は数日に一回程度の来訪である。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議での意見交換を通して交流が少しずつ広がっている。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間のコミュニケーションもとれており、楽しく仕事ができている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	様子を見ながら声かけをしても不満を漏らされる利用者がおられる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時等お話をすると、満足されている内容のお話をされる。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)